

様式13

会派視察研修計画書

令和元年 7月10日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 小池 友妃子

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	小池 友妃子	
日時	令和元年 8月 7日（水）	
視察先	高浜市	
研修内容	産後ケアの取り組みについて	
日程	(視察先到着時間・宿泊先名及び電話も記入) 10時 いきいき広場2階 健康推進グループ	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名 (三河高浜駅)	自家用車利用 _____ 台 所有者名 ()

(議会事務局記入)

旅費の額	(内 訳)
円	

様式 1 4

会派視察研修報告書

令和元年 8月15日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 小池 友妃子 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 1人 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	小池 友妃子
日 時	令和元年 8月 7日（水）
視 察 先	愛知県高浜市
研 修 内 容	産後ケア入院事業について
視察先面会者 又は講師名等	高浜市 健康推進グループ 鈴木美奈子氏
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修報告書

令和元年 8月13日

議員氏名 小池 友妃子 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和元年 8月7日（水）
- 2 視察先 愛知県高浜市
- 3 視察の種類 会派（みらいクラブ）視察
- 4 視察の成果等

① 愛知県高浜市・・・「産後ケア入院事業」について

1) 妊娠出産包括支援事業の経緯について

2014年の合計特殊出生率が約1.42へと低下している日本。

厚生労働省は、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行う包括的な窓口を、2014年度からネウボラを参考に、千葉県浦安市、東京都世田谷区、埼玉県和光市、愛知県高浜市、三重県名張市などの市区町村で、妊娠・出産包括的支援モデル事業を行っている。

高浜市では、妊娠出産包括支援事業が始まった2014年には、産後ケア入院事業はなく、産後デイケアサービスの実施から開始した。その後、2015年より産後ケア入院事業を開始した。しかし、高浜市には助産院がなく、安城市の八千代病院、碧助産院と提携し実施している。始まった当初の2015年には、市民の負担割合3割でサービス受給者0件であった。その後2016年、2017年各2件ずつ利用者あり、2018年3件利用されている。（この年2割負担になる）

【高浜市の概況】

「個別支援から親支援そして家庭支援へ」

2) 平成31年度 妊娠出産包括支援事業

妊娠から出産、子育て期の親子を切れ目なく支援する体制の構築、

- ① マイ保健師の推進
- ② 子育て世代包括支援エンターの充実

3) 産後うつの原因および現状について

- ・核家族化が進み、子育てに対する相談者がいないこと
- ・2人目以降の子育ての負担感による疲労 等

4) 産後ケア入院事業の費用助成について

【助成対象】・・・下記すべての該当する方

- ・高浜市に住民登録のある方
- ・生後3ヶ月までの赤ちゃんとそのお母さん
- ・体調不良や育児不安があるお母さん

【利用期間】・・・7日以内（トータル）

【助成額】・・・基本料金には、食事・ミルク・おむつ・病衣代含まず。

- ・産後ケア費用のうち 基本料金と個室利用の8割を市が助成
- ・市町村民税非課税世帯等は、基本料金と個室利用の9割を市が助成

【産後ケア実施場所】・・・八千代病院・碧助産院（共に安城市）

※委託金なし

【手続き等】・・・希望する場合に健康推進Gに所定用紙提出にて申し込み

5) 視察を終えて

産後ケア入院事業は、一人の保健師が子供やその家族と対話を重ねながら継続的に担当し、医療や健康に関するだけでなく、子供の成長や子育て、家庭の問題など、その時々のお悩みを相談できる妊婦出産包括支援事業の一つと位置づけられている。

利用者の数は、まだまだ少ないが、少ないから必要ないわけでもなく、高浜市では、たとえ一人でも必要としている人がいれば、本事業を進めている価値はあるという。

現在、西三河8市のうち碧南市のみ産後ケア入院事業がない。核家族化等にもなり、産後身内でケアをしてくれる人もいない場合が増えてきているし、同居している場合でも、今と昔では子育ての仕方に違いもあり、相談できないお母さんは増えてきている。特に夜はお母さんが一人で、乳児の世話をすることが多く、ご主人すら手を貸そうとしない人もいるという。お母さん達は、子育てについての相談等聞いてもらえるところもなく、自分一人

で抱え込んでしまい、精神的不安や心労が増えてきているという。

碧南市は西三河でも出生率が一番低い。子育て環境を整え、精神的負担を軽減し、母子ともに健康で安心して子育てできるように、碧南市もデイケアサービスだけでなく、夜のケアも他市のように事業展開していくことは、非常に大切なことであり早急に事業展開していくべきだと感じた。

